

## 福岡県公安委員会活動状況

### <定例会の主な議題及び要旨>

令和4年6月23日（木）

#### 【報告事項】

#### 1 6月定例県議会の結果について

（総務部）

警察本部から「6月定例県議会は、19日間の会期を終え、6月21日に閉会した。本会議における代表質問では、緑友会から管内情勢の分析及び警察本部長の決意等について質問が行われた。一般質問では、民主県政県議団から持続化給付金等に係る不正受給の現状について、日本共産党から痴漢・盗撮対策について質問が行われた。警察委員会では、議案審査はなく、飲酒運転撲滅対策等の推進状況について報告した。」旨の報告があった。

#### 2 令和4年度福岡県警察逮捕術大会の実施について

（警務部）

警察本部から「7月5日、福岡武道館において、令和4年度福岡県警察逮捕術大会を開催する。本大会は新型コロナウイルス感染症の影響により3大会ぶりの開催となり、男子団体戦及び女子個人戦を実施する。」旨の報告があった。

公安委員から「令和元年に県警察の柔道・剣道大会を観覧した際、日頃の訓練の重要性を感じた。コロナ禍で対人訓練ができない期間が続いたが、今回の大会を契機として、技術等の向上に努めてもらいたい。」旨の発言があり、警察本部から「各選手は訓練に励んでおり、今回の大会は、試合時間の短縮等の感染症対策に配慮して開催する。今後もコロナ禍での大会の在り方を模索しながら、職員の術科技能の向上に努めていく。」旨の説明があった。

#### 3 私電磁的記録不正作出・同供用事件被疑者の逮捕について

（生活安全部）

警察本部から「筑紫野警察署及びサイバー犯罪対策課は、令和2年9月24日、筑紫野市所在の携帯電話販売店において、顧客の承諾を受けずに、顧客のスマートフォンから、100円の電子マネーをチャージするという虚偽の情報を電子決済サービス会社へ送信し、インターネットショッピングサイトでボールペン1本をチャージした電子マネーで支払うという虚偽の情報を送信した私電磁的記録不正作出・同供用事件について、6月20日、春日市居住の会社員の男性を逮捕した。」旨の報告があった。

公安委員から「サイバー犯罪は、スマートフォン等で容易に行えるものであり、犯罪へのハードルが低い場合がある。警察として若い世代に対する広報啓発はどのように行っているか。」旨の発言があり、警察本部から「若い世代に普及しているスマートフォンやSNS等は犯行ツールとして使用される場合もあるので、防犯教室の際に危険性についての広報啓発を行っている。」旨の説明があった。

公安委員から「小中学生に対しても、スマートフォンやSNS等を利用している中でどのような行為が犯罪となるのかという教育や犯罪に遭わないための教育が必要であると考えます。」旨の発言があり、警察本部から、「小中学生への啓発活動をしっかり取り組んでいく。」旨の説明があった。

公安委員から、「本件捜査に長期間を要した理由は何か。」旨の発言があり、警察本部から「各種裏付け捜査に時間を要したためである。」旨の説明があった。

公安委員から、「実績向上のため、他の販売店でも同様の手口で犯行を行うなど組織

的な背景はあるのか。」旨の発言があり、警察本部から、「今後はその点も踏まえた捜査を行い、全容解明に努めていく。」旨の説明があった。

#### 4 夏季における性犯罪等予防対策の強化について

##### (生活安全部)

警察本部から「性犯罪は、例年夏季に増加する傾向にあるほか、夏休み中の子供を狙った犯罪の発生が懸念されることから、7月1日から8月31日までの間、性犯罪等の予防対策を強化する。期間中は、性犯罪等を発生させないための重点警戒等の推進を始め、夏休みにおける子供の安全対策の強化及び性犯罪等に対する先制・予防的活動等を推進する。主な取組として、学生ボランティア等と連携した性犯罪等被害防止キャンペーン等を実施するなどして、引き続き三大重点目標の一つである性犯罪の根絶に向け、各種取組を推進していく。」旨の報告があった。

公安委員から「年間でみれば、県内の性犯罪は減少傾向にあるのか。」旨の発言があり、警察本部から、「人口10万人当たりの性犯罪認知件数は、平成23年以降8年連続で全国ワースト2位だったが、令和3年は7位、今年は12位と改善傾向にあり、各種対策が功を奏しているものと考えている。」旨の説明があった。

公安委員から、「学生ボランティアとは、どのようなものか。」旨の発言があり、警察本部から「大学のボランティアサークルに所属している学生であり、性犯罪の被害者層と同年代の学生と連携してキャンペーンを行うことで、被害者層に届く広報啓発を推進している。また、県内の様々な大学の学生が集まったイベントサークルとも連携して、若者ならではの視点を取り入れた防犯動画を制作するなど、引き続き効果的な情報発信に努めていく。」旨の説明があった。

公安委員から「性犯罪の実態分析については確立しているのか。」旨の発言があり、警察本部から「発生時間帯については15時台から23時台の被害が全体の5割を占めており、年代別では10歳代及び20歳代の被害が全体の8割を占めている。また、地区別では福岡地区の発生が多く、地理的には駅周辺の被害が多い等の分析がなされており、分析した結果については、警察署や自動車警ら隊等の執行隊へ情報提供し、警戒活動に活用している。」旨の説明があった。

公安委員から「被害者層に合わせた広報を行っているのか。」旨の発言があり、警察本部から「具体的な防犯情報を配信している防犯アプリ「みまもっち」のダウンロードにつなげるため、主な被害者層である世代がよく利用しているSNSに宣伝広告を配信し、防犯アプリ「みまもっち」の更なる普及に取り組んでいく。」旨の説明があった。

公安委員から「防犯ブザーは全ての小学校で入学時等に配布されているのか。」旨の発言があり、警察本部から「防犯ブザーの配布は、各地区の防犯協会などにおいて地域ごとに取組がなされているものと承知している。」旨の説明があった。

公安委員から「小学生には声かけ事案等の防犯指導が積極的に行われており、善意で声かけした地域住民とトラブルになることもあるようである。声かけ等の防犯教育に関する広報啓発活動も必要ではないか。」旨の発言があり、警察本部から「見守る側への広報啓発についても事例を踏まえ、工夫しながら行っていきたい。」旨の説明があった。

#### 5 第4回少年健全育成ボランティア大会の開催について

##### (生活安全部)

警察本部から「7月2日、福岡市立東市民センターにおいて、第4回少年健全育成ボランティア大会を開催する。本大会は、昭和54年から開催していた「少年非行防止大会」に引き続き、令和元年から、少年警察ボランティア相互の連帯意識を高めることなどを目的として、名称を改めて開催している。今回は、新型コロナウイルス感染症の影響により3年ぶりの開催となり、少年補導員の方への表彰の後、立ち直り支援をテーマ

としたトークライブを行う。」旨の報告があった。

公安委員から「本大会の内容は非常に興味深いものであるが、どのような方を対象としているのか。」旨の発言があり、警察本部から「本大会は、少年補導員や学生ボランティア等を対象としている。」旨の説明があった。

## 6 令和4年福岡県警察通信指令競技会の実施について

(地域部)

警察本部から「7月6日から8日までの3日間、重要事件発生時における組織対応能力を高めるため、警察官の通信指令技能等の向上を図ることを目的に、警察署及び執行隊を対象とした通信指令競技会を実施する。」旨の報告があった。

公安委員から「採点はどのような点に着眼して行うのか。」旨の発言があり、警察本部から「無線技能、通話内容、通信手続き等の総合評価で採点を行う。」旨の説明があった。

公安委員から「重要事件発生への迅速的確な対処のため、しっかり取り組んでもらいたい。」旨の発言があった。

## 7 第26回参議院議員通常選挙違反取締本部の設置について

(刑事部)

警察本部から「第26回参議院議員通常選挙に伴い、6月16日、警察本部及び県下36警察署に選挙違反取締本部を設置するとともに、6月17日、選挙関係署長会議を開催し、本部長等から取締りの基本方針について指示した。」旨の報告があった。

### 【その他の報告事項】

公安委員から「最近、飲酒運転による逮捕者が増加しているが、その要因及び県警としてどのような対策を行っていくのか。」旨の発言があり、警察本部から「福岡県コロナ警報解除後、飲酒運転が増加するおそれがあったことから、指標となる飲酒運転事故は減少傾向にあったものの、6月2日、各警察署に対し情勢に応じた取締りの強化を指示するとともに、交通部による特別部隊を編成し、繁華街での取締りを強化した。その結果、昨日までに45人を逮捕しており、内訳は、交通事故を端緒とするものが10人、警察の取締りによるものが35人となっている。また、警察による取締り強化、飲酒運転を見かけた際の110番通報の呼びかけ等を県民に伝える啓発動画を作成し、先週からSNSで配信している。さらに、毎月、飲酒運転撲滅の日である25日前後に県下一斉の飲酒運転取締りを行っており、今月も夕刻から未明にかけて実施予定である。」旨の説明があった。

公安委員から「本年は飲酒運転による死亡事故は発生しているのか。」旨の発言があり、警察本部から「本年は飲酒運転による死亡事故が1件発生している。」旨の説明があった。